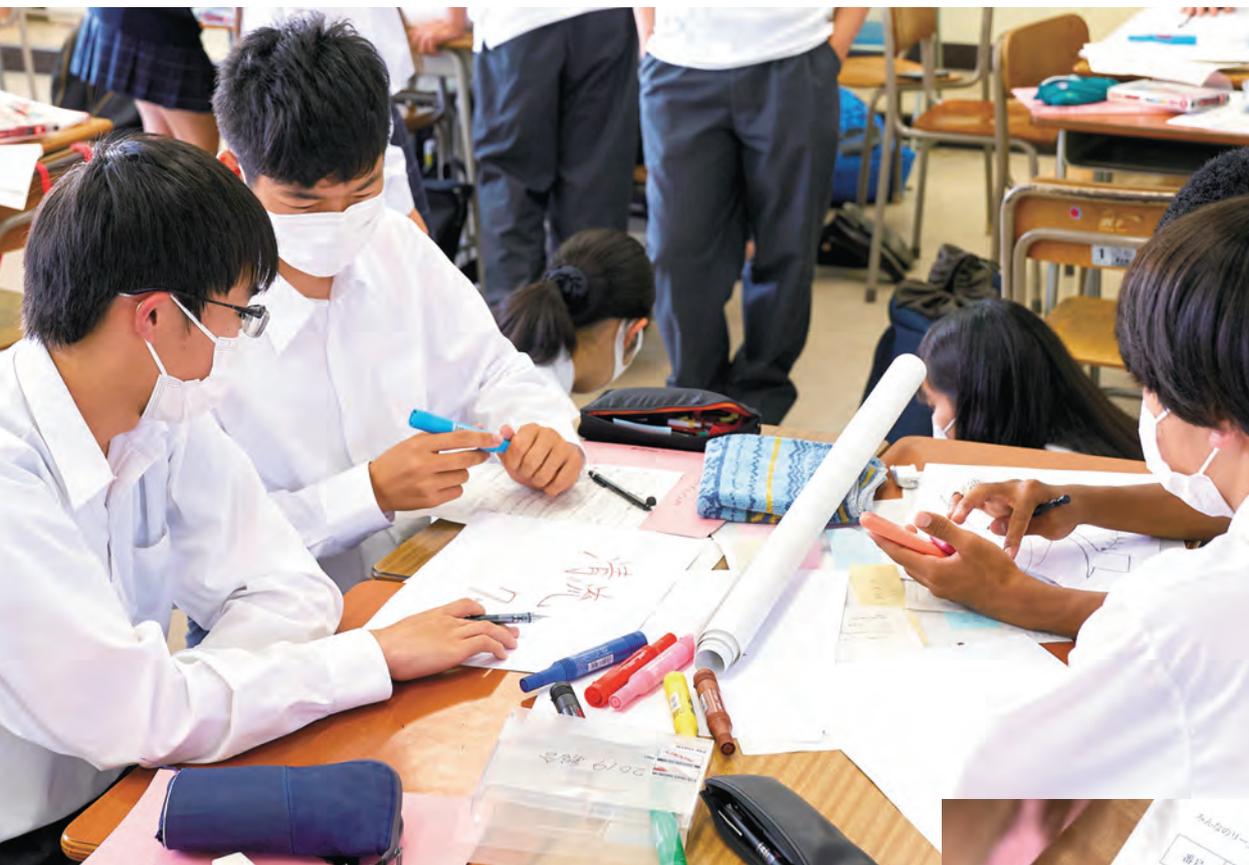




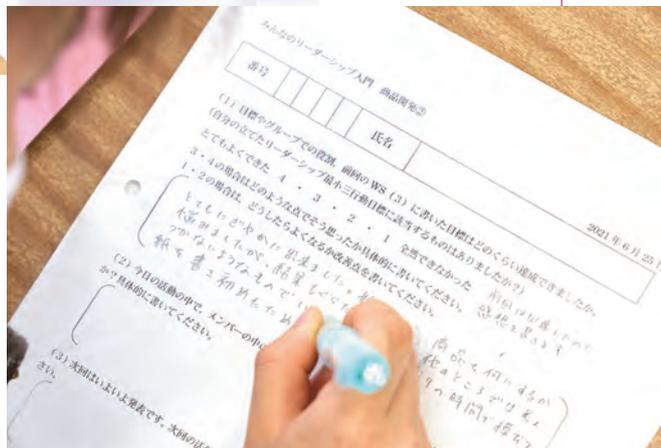
リーダーシップ教育

集団の目標の達成に向けて、 自らの力を発揮するリーダーシップを育成

神奈川県立藤沢清流高校



本時の活動は、自校をアピールするための商品やサービスを考えて、プレゼンテーションの準備をすること。アイデアがまとまると、プレゼンテーションに向けて、キャッチコピーの考案や、ポスターに掲載するイラスト作成など、役割を決め、それぞれの活動を率先して行っていた。



授業の最後に行う振り返りでは、自分を含むグループのメンバーの行動や発言の中で、目標の達成において役立ったことをワークシートに記入した。

どんな学び？

1 授業の内容は？

権限や役割によらないリーダーシップの意味や大切さについて理解し、日常生活で発揮することが目標です。「目標共有・率先垂範・相互支援」の3要素を軸にグループワークなどを行います。

2 育成を目指す資質・能力は？

コミュニケーション力やプレゼンテーション力、傾聴力、情報収集力など、社会人に必要な力を幅広く育成します。

3 なぜ、この学びが必要？

リーダー経験のない生徒でも、自分にも発揮できるリーダーシップがあると知り、実践することで、すべての教育活動が一層活性化すると考えました。

目標を共有し、自ら行動して 仲間を支える力を身につける

一般的にリーダーと言えば、優れた能力で集団を率いる人をイメージすると思いますが、本校では、誰もが発揮できるリーダーシップを育成しています。それは、目標共有（目標の浸透）、率先垂範（自ら行動し、周囲を巻き込む）、相互支援（仲間を支える・支援を求める）の3要素から成ります。例えば、グループの代表として発表する人だけでなく、資料作成に専念した人も、リーダーシップを発揮していると捉えます。また、ちょっとした提案で議論を進めることもリーダーシップの発揮であり、そうしたグループでの目標の達成に向けて主体的にかかわる資質・能力の育成を目指しています。

本校の生徒は真面目ですが、おとなしく、意思表示をためらう傾向があります。しかし、生徒が3要素を身につければ、授業での活動や学校行事などが活性化されるのではないかと考え、2016年度、リーダーシップ教育を導入しました。そして、この教育を支援する企業とともにカリキュラムを作成し、17年度、1年次の

学校設定科目として「みんなのリーダーシップ入門」を開講しました。

仲間を認め合う振り返りで 自己肯定感を高める

授業は1コマ90分間で、毎回4〜5人のグループになって活動します。単元の展開はまず、前述の3要素について説明した上で、常に具体的な目標を設定し、意識して行動するよう伝えます。そして、毎時間、グループで活動し、コミュニケーション力や傾聴力を高めていきます。それらの活動を踏まえ、グループで本校をアピールする商品やサービスを考え、それをプレゼンテーションすることにしました(図)。

図 「みんなのリーダーシップ入門」単元計画(抜粋)

1	オリエンテーション	リーダーシップの3要素を学ぶ。
2	クラスのキャッチコピー・行動計画	理想のクラス像を絵に描き、クラスのキャッチコピーを考える。
3	自己理解・他者理解(コンセンサス)	NASAの「月面サバイバル」のコンセンサス・ゲームを通じて、視野を広げる助けとして自分の意見と異なる意見を捉えることを学ぶ。
4	ノンバーバルコミュニケーション	同じ言葉を複数の生徒が発し、口調や表情でどのように印象が異なるかを考える。
5	情報を組み立てる(課題解決ゲーム)	各人の情報を整理しながらテーマパークの施設の配置を明らかにする作業を通じて、コミュニケーション力を高める。
6	協働する力(人間コピー)	廊下の絵の内容を、絵を見ていない人に伝え、口頭の情報だけで絵を仕上げます。
7	ペーパークラフト	グループで、紙1枚と限られた道具で1つのものを制作。伝え、聞く力や3要素を発揮。
8	プレゼンテーション基礎	まず結論を述べてから、具体例を加えて説明する発表の手法を身につける。
9	商品開発①企画	自校をアピールする商品やサービスを考え、プレゼンテーションする。ポスターを描いたり、プレゼンテーションソフトを活用したりと、提案方法は各グループで考える。
10	商品開発②企画・発表準備	
11	商品開発③発表	

※学校資料を基に編集部で作成。

毎授業の最後には、グループのメンバー相互にフィードバックを行います。自身の活動の貢献度や次時に向けた改善点を考えるための「振り返り」をし、その内容をグループ内で共有します。グループに貢献できたという実感は、生徒の自己肯定感を高めます。さらに、本時の学びが他の授業や生活の中でどう生かせるかをワークシートに書かせ、次時までに実践するよう促しています。

それらの積み重ねによって、生徒は様々な場面でリーダーシップを発揮していきます。ある部活動では、先輩後輩を問わず意見を出し合い、活動方法を改善した結果、チームが活性化したことが報告されています。



総括教諭・
キャリア支援グループ
小島昭彦
こじま・あきひこ

教職歴34年。同校に赴任して11年目。外国語科(英語)。

学校概要

- ◎ 神奈川県立大清水高校と同藤沢高校が再編統合し、大清水高校の校地に開校。キャッチフレーズは「まじめがかっこいい」。2013〜15年度、神奈川県「確かな学力向上推進重点校」(アクティブラーニングに基づく学力向上推進)、16〜21年度「授業力向上推進重点校」に指定され、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善に取り組む。
- ◎ 設立 2010(平成22年)
- ◎ 形態 全日制/普通科/共学
- ◎ 生徒数 1学年約280人
- ◎ 2021年度入試合格実績(浪浪計)
国公立大は、静岡大に1人が合格。私立大は、青山学院大、駒澤大、専修大、東海大、東洋大、日本大、法政大、明治大、神奈川大、関東学院大などに延べ262人が合格。

VIEWn-expressでは、
「ウェブで見学 学びのnext」で、
同校のリーダーシップ教育について
さらに詳しく紹介!
<8月23日公開予定>

VIEW n-express 検索